

証券コード 5017



AOCホールディングス株式会社

決算説明会

2004年5月31日

www.aochd.co.jp





事業内容

当社株式は、東京証券取引所における新規上場基準に基づく審査基準に適合するとの認定を受け、平成15年12月24日をもって、上場に関する「猶予期間」を解除されております。

AOCHDの事業内容と主要グループ企業

持株会社



AOCホールディングス

100%



アラビア石油

100%



富士石油

上流事業

下流事業

50%

50%

ペトロプログレス

石油輸出入

28.5%

28.5%

日本オイルエンジニアリング

石油技術コンサルティング

エネルギーの安定供給に貢献

上流事業：アラビア石油

- ・ 日本の石油自主開発の先駆者
- ・ オペレーターとして40年以上にわたる豊富な経験とノウハウ
- ・ 国際レベルの技術力
- ・ 産油国との太いパイプ

03年1月よりカフジ操業はクウェイトとの新契約に移行

- ・ 技術サ - ビス契約
- ・ 原油売買契約
- ・ 融資契約

下流事業：富士石油

- ・ エネルギー需要の集中する首都圏に立地
- ・ コスト競争力のある大型総合製油所
- ・ 環境規制に的確に対応
- ・ 柔軟な供給体制

石油製品



ジャパソエナジ -

重油など



東京電力

ナフサ
ベンゼン



住友化学

ユリカピッチ
キシレン



住友金属 他

2004年3月期 決算の概要



連結対象会社



AOCホールディングス

	上流	下流
連結 子会社 10社	アラビア石油 Arabian Oil Company (Cayman) AEDC (USA) Norske AEDC	富士石油 富士石油販売 富士タンカー 富士臨海 ペトロプログレス Petro Progress Pte. Ltd.
持分法 子会社 関連会社 4社	新華南石油開発 *1	Aramo Shipping (Singapore) *2
	その他 日本オイルエンジニアリング 東京石油興業	

*1 株式買増しにより05/3期より連結子会社

*2 新規持分法適用会社

04/3期 連結決算の概要

(億円)

	実績			予想(中間決算時)			差異			乖離 (%)
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計	
売上高	1,167	3,307	4,474	1,136	3,103	4,240	30	203	234	6
営業利益	19	58	78	17	51	68	2	6	9	14
経常利益	12	59	72	15	41	57	3	18	14	25
純利益	15	28	44	4	32	37	11	4	6	19

(注) 内部取引消去は下流部門に含めて表記している

04/3期 セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	実績			予想(中間決算時)			差異		
	ガシ'関連	石油・ガス 開発 /生産	石油 精製 販売	ガシ'関連	石油・ガス 開発 /生産	石油 精製 販売	ガシ'関連	石油・ガス 開発 /生産	石油 精製 販売
売上高	1,132	36	3,420	1,102	34	3,103	30	2	317
営業利益	11	7	58	7	10	51	4	3	7

営業外損益の内訳

(億円)

	上流	下流	計
営業外収益	5	29	34
受取利息/配当金	2	3	5
持分法による投資利益	3	17	21
その他	0	7	8
営業外費用	13	27	40
支払利息	3	18	21
為替差損	8	0	7
貸倒引当金繰入額	-	5	5
その他	1	4	6

特別損益の内訳

(億円)

	上流	下流	計
特別利益	2	8	10
投資有価証券等売却益	2	8	10
特別損失	-	17	17
固定資産除却損	-	10	10
特別退職金	-	2	2
統合関連費用	-	4	4

04/3期 原油・天然ガス販売量/販売価格

(販売量単位) 原油:千バレル/日、天然ガス:百万立方フィート/日

(販売価格単位) 原油:バレル当たり、天然ガス:千立方フィート当たり

	販売量			販売価格	
	実績	計画	計画比 (%)	実績	予想
カフジ原油	93.4	94.1	99	\$ 26.46	\$ 25.14
フート原油	4.9	5.0	98	\$ 27.28	\$ 25.51
南海ミディアム原油	3.4	3.4	101	\$ 28.86	\$ 27.48
エコフィスク原油	0.5	0.6	96	\$ 28.85	\$ 26.81
原油計	102.2	103.1	99	-	-
天然ガス(米国メキシコ湾)	13.6	14.7	93	\$ 5.73	\$ 5.21

04/3期 石油製品販売量

(千KL)

	実績	計画	計画比(%)
揮発油	1,630	1,593	102
ナフサ	289	291	99
ジェット	1,008	1,007	100
灯油	422	420	101
軽油	1,357	1,362	100
A重油	452	419	108
C重油	1,383	1,096	126
ベンゼン・キシレン	428	423	101
生焚原油	49	49	100
その他	564	573	98
小計	7,582	7,238	104
ジョイント・バター	1,033	662	156
合計	8,615	7,901	109

連結貸借対照表の主な増減項目

(億円)

	04/3期		03/3期		増減額
		構成比		構成比	
流動資産	1,313	48.3	1,480	55.0	167
現金・預金	233	8.6	272	10.1	38
受取手形・売掛金	595	21.9	692	25.7	96
棚卸資産	374	13.8	407	15.1	32
固定資産	1,406	51.7	1,211	45.0	195
資産合計	2,720	100	2,692	100	28
流動負債	1,200	44.1	1,507	56.0	307
固定負債	886	32.6	670	25.0	215
負債合計	2,086	76.7	2,178	81.0	91
資本合計	632	23.2	512	19.0	120
負債・資本合計	2,720	100	2,692	100	28

キャッシュフローの状況

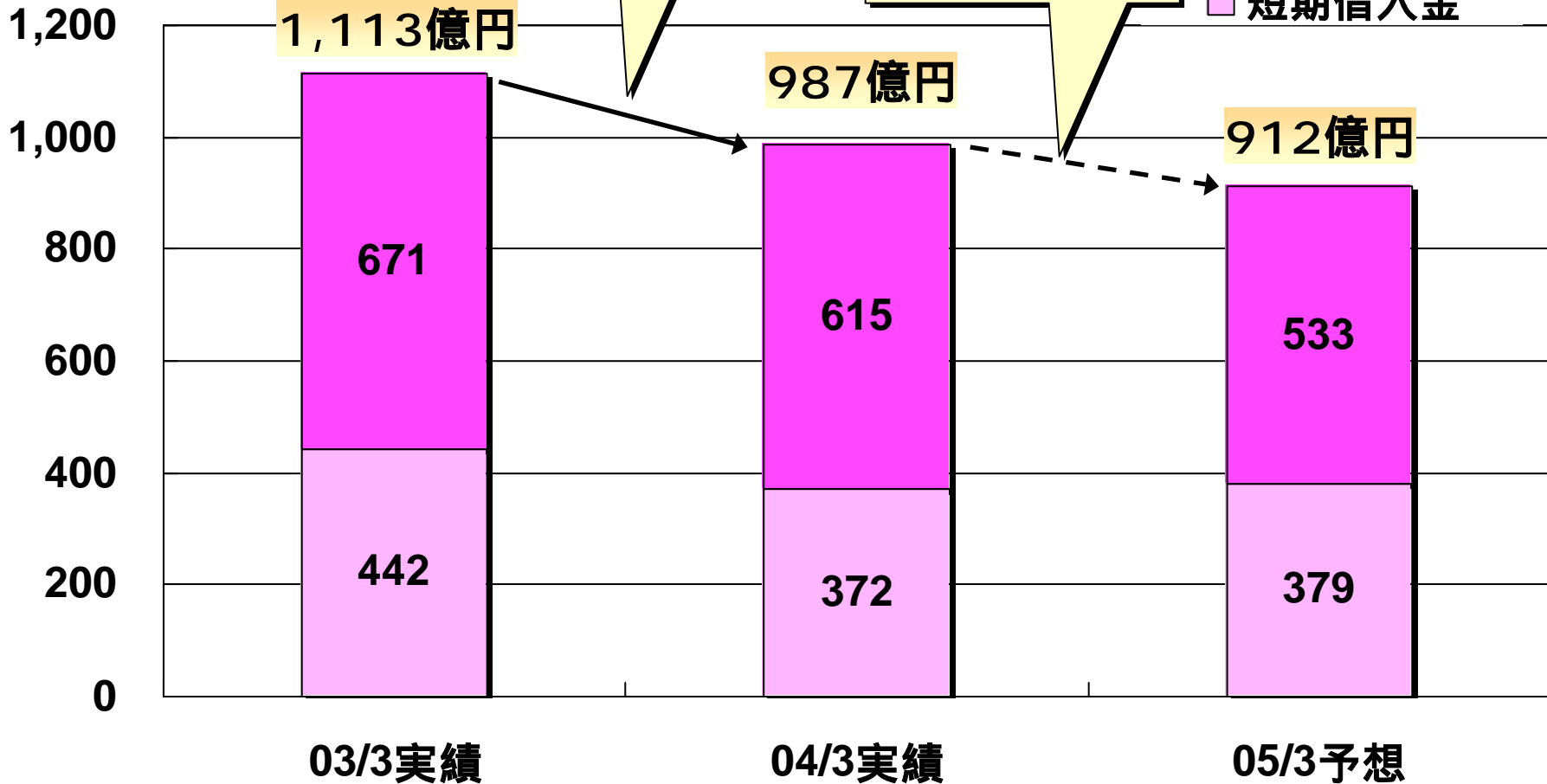
(億円)

	上流	下流	計	03/3期実績	増減
営業活動によるCF	76	150	73	101	175
投資活動によるCF	130	3	126	25	101
財務活動によるCF	104	74	30	84	115
現金及び現金同等物に係る為替差額	13	3	17	0	17
現金及び現金同等物の増減	115	75	40	211	171
現金及び現金同等物の期首残高	184	77	261	189	72
株式移転に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-	-	283	283
現金及び現金同等物の期末残高	68	152	221	261	40

有利子負債削減計画

(億円)

■ 長期借入金
■ 短期借入金



注)クウェイトとの融資契約関連は除外

一年以内に返済される長期貸付金は長期に含めて表記している

主要事業会社決算概況(単体)

アラビア石油

(億円)

	04/3期	03/3期 *
売上高	1,119	338
営業利益	11	10
経常利益	1	10
当期純利益	7	56
利益剰余金	7	148

* 決算期変更のため
3ヶ月決算

富士石油

(億円)

	04/3期	03/3期	増減額	増減率
売上高	3,178	3,111	+67	+2%
営業利益	56	37	+18	+50%
経常利益	41	28	+12	+45%
当期純利益	26	19	+7	+39%
利益剰余金	63	37	+26	+71%



2005年3月期 業績見通し

事業計画の概要

・上流事業

- クウェイトとの技術サ - ビス契約の下でのカフジ事業継続と関連サ - ビス業務の拡大
- 原油販売計画: 104.5千バレル/日 (前期比 +6%)
(新華南石油開発の連結子会社化による連結売上増)

・下流事業

- 石油製品販売計画: 7,734千KL (前期比 10%)
(電力用C重油の販売減等)
- 精製コストの削減 (単価1,500円台/KLを実現)
- サルファ - フリ - (硫黄分10ppm以下) ガソリン・軽油の出荷開始
- 低位熱エネルギー - 回収技術実用化への取り組み

・見通しの前提

原油価格: ドバイ原油 \$28/bbl
為替レート: 105円/\$

05/3期 連結業績見通し

(億円)

	05/3期 予想			04/3期 実績			増減		
	上流	下流	計	上流	下流	計	上流	下流	計
売上高	1,175	3,005	4,180	1,167	3,307	4,474	7	302	294
営業利益	28	36	64	19	58	78	8	21	13
経常利益	23	28	51	12	59	72	10	31	21
当期純利益	7	27	35	15	28	44	8	0	8
設備投資	8	29	38	2	6	9	6	22	29
減価償却費	15	30	45	13	36	49	2	5	3

セグメント別売上高・営業利益見通し(連結)

(億円)

	05/3期予想			04/3期実績			差異		
	カフジ 関連	石油・ ガス開発 /生産	石油 精製 販売	カフジ 関連	石油・ ガス開発 /生産	石油 精製 販売	カフジ 関連	石油・ ガス開発 /生産	石油 精製 販売
売上高	1,115	59	3,005	1,132	36	3,420	17	23	415
営業利益	12	15	36	11	7	58	1	8	22

証券コード 5017



経営統合による今後の課題



経営統合による中長期戦略

- 上流・下流両事業領域における経営管理の一元化推進
- 経営効率と収益性の向上による競争力強化
- 上流・下流事業の有機的な結合によるキャッシュフローの増加
- 両事業部門の投資の最適化

上流事業の今後の取組み

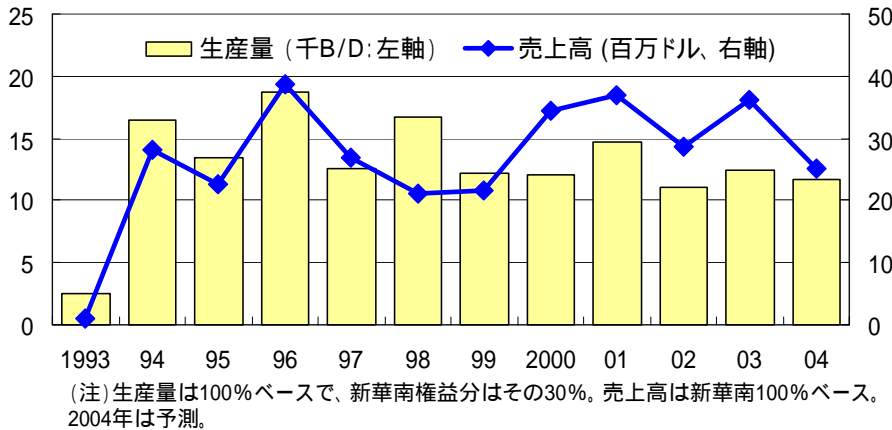
- 沖合分割地帯の派遣人員増への努力
(ドラガス田プロジェクトへの関与)
- 沖合分割地帯以外の既存プロジェクトの収益力維持
- 優良な石油・ガス開発/生産案件発掘への戦略的取組み
- 中東地域を中心とした協力事業等周辺事業の開拓

下流事業の今後の取組み

- **環境対応を重視しつつ、安定的、効率的操業のための投資**
- **首都圏立地の優位性を生かした販売強化と高稼働率の維持**
- **アジア地域の需要増等に対応した製品の輸出の強化**
- **C重油対策としての収益性向上に向けた新規投資の検討(付加価値の高い製品の供給)**

別添1：新華南石油開発(株)の連結子会社化

- アラビア石油は、石油公団保有の新華南石油開発の株式(30,000株：発行済み株式総数の50%)を4月30日付にて取得 保有比率合計83.7%、AOCHDの持分法適用関連会社から連結対象子会社へ。
- 新華南は中国南シナ海珠江口沖Lufeng13-1油田の30%権益保有。



業績の推移 (百万円)			
	2001年	2002年	2003年
売上高	4,506	3,627	4,192
経常利益	2,971	1,213	2,204
当期純利益	1,486	1,281	1,244

株式50%追加取得による 2005年3月期連結PL影響額 (億円)	
売上高	18
営業利益	9
経常利益	9
当期純利益	5

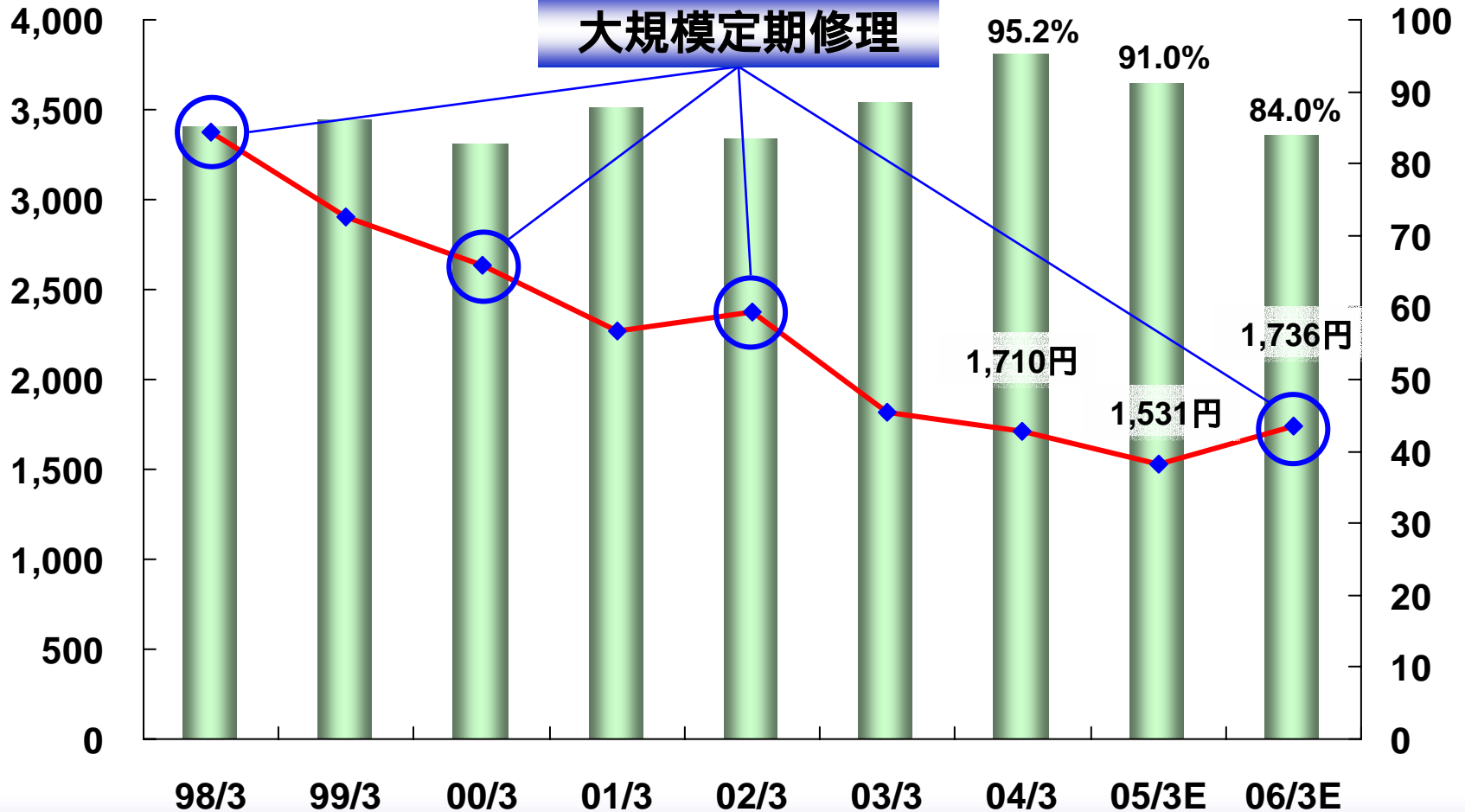
別添2：製油所稼働率と精製コストの推移

精製コスト：円/KL

稼働率：%

■ 稼働率：140千B/D ◆ 精製コスト

大規模定期修理



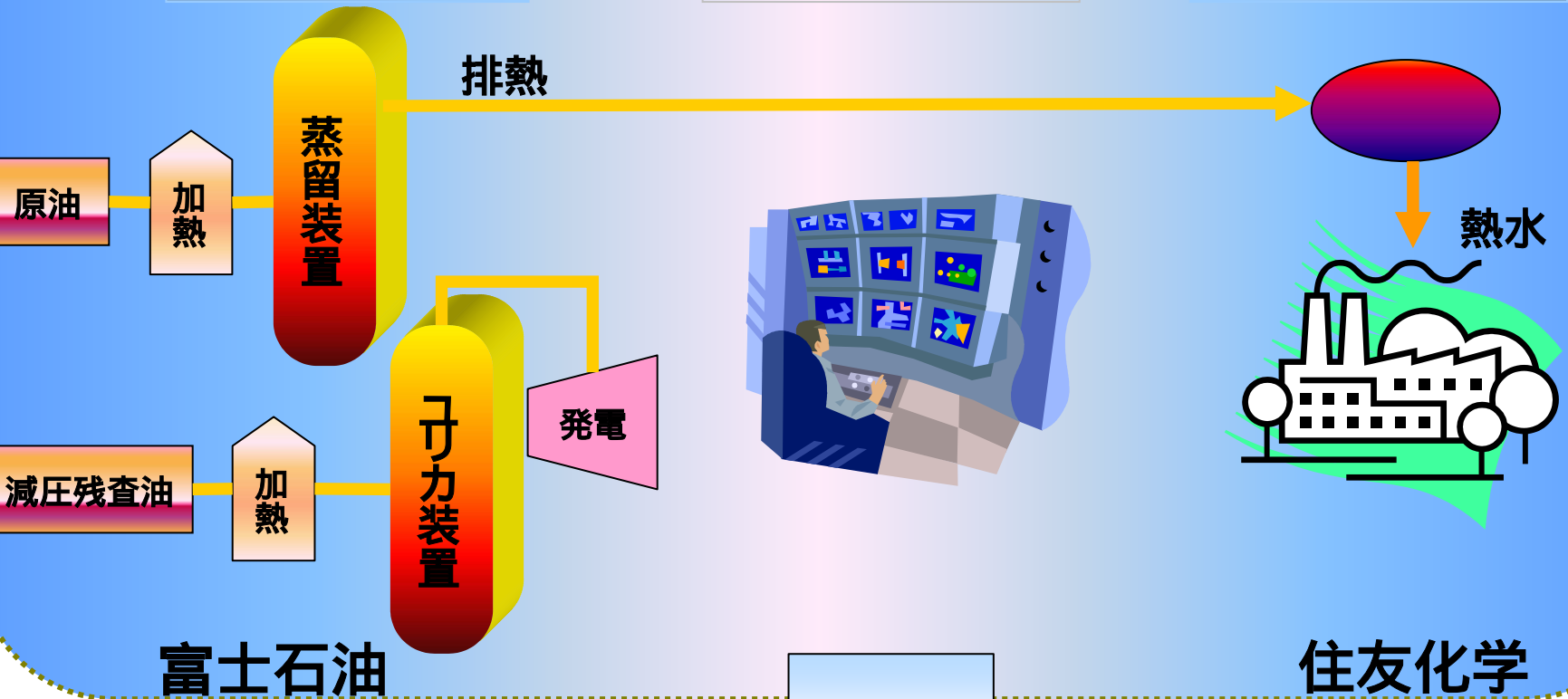
別添3: 低位熱エネルギーの利用について

NEDOより共同研究受託(3テーマ)

低温排熱発電

最適運転制御

低温排熱利用



効果

- 自家発電比率向上によるコスト削減
- 低位熱エネルギーの回収による省エネ
- CO2削減

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。



www.aochd.co.jp/

お問合せ先

IRグループ

淵田、関川まで